

## 第7期介護保険事業計画「取組と目標」に対する自己評価シート

※「介護保険事業（支援）計画の進捗管理の手引き（平成30年7月30日厚生労働省老健局介護保険計画課）」の自己評価シートをもとに作成

第7期介護保険事業計画に記載の内容				R元年度（年度末実績）		
区分	現状と課題	第7期における具体的な取組	目標（事業内容、指標等）	実施内容	自己評価	課題と対応策
①	<p>元気な高齢者を増やすため、住民の自主的な介護予防の推進と、高齢者の居場所づくり及び社会参加の機会を増やすことが必要。</p> <p>○ サロンの未実施地域がある。</p> <p>○ 会場毎の実施回数が少ない。（年3～12回/会場で、年12回実施しているのは半数程度）</p>	<p>○ 地域ふれあいサロンの充実</p> <p>今後は、サロンを核とした、住民の主体的な活動を支援し、高齢者の介護予防と支え合いの地域づくりを推進するために、サロンの助成制度等の支援を拡充し、全地域実施と会場毎の回数増を目指す。</p>	<p>○ サロンの全地域実施</p> <p>○ サロン会場毎の開催回数増</p> <p>H30年度 延672回 延8,400人 56会場 年12回/会場</p> <p>R元年度 延784回 延9,800人 56会場 年14回/会場</p> <p>R2年度 延896回 延11,200人 56会場 年16回/会場</p>	<p>○ 「サロンの助成制度」を充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・会場数60（他地区乗り入れ含む） 延べ回数839回</li> <li>・サロン新規開催地区：2地区</li> <li>・サロン受入（乗入）地区：3地区</li> <li>・年12回以上実施した会場は約67%</li> </ul> <p>○ 未実施地区に対し、区長等へ個別勧奨</p> <p>○ 協力員研修会でのサロンメニュー作成の支援</p> <p>○ 介護予防サポーターに対するサロン活動協力への意向調査、サロン協力員研修会への参加勧奨と、サロン協力員への介護予防サポーター養成講座勧奨</p>	◎	<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・会場まで移動が困難な住民もいる。</li> <li>・参加者の固定化、男性参加者が少ない。</li> <li>・協力員の負担増大、未実施地区対応。</li> </ul> <p>【対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・会場までの移動について聞き取り。</li> <li>・協力員研修会等での情報交換、回数・男性参加者の増加方を検討。</li> <li>・次年度、介護予防サポーターの支援に対しサロン助成金の加算。未実施への個別勧奨継続。</li> </ul>
①	<p>元気な高齢者が社会の中で役割を持つことが、高齢者自身の介護予防や生きがいにもつながることから、高齢者をこれからの地域を担う重要なマンパワーとして位置づけ、その地域活動を積極的に支援することが必要。</p>	<p>○ 脳元気お助け隊講習会（介護予防サポーター養成講座）の充実</p> <p>元気なうちから認知症予防についての知識を習得し、生活の中で実践する方法を学び、その知識と実践方法を地域活動で伝授できるような人材を育成する。</p>	<p>○ 脳元気お助け隊講習会（介護予防サポーター養成講座）の開催</p> <p>毎年度 6回シリーズで実施 実人数20人</p> <p>○ 介護予防サポーター登録者数を増やす</p> <p>H29年度 51人 R2年度 100人</p>	<p>○ 脳元気お助け隊講習会（介護予防サポーター養成講座）の開催</p> <p>回数 計6回/年 開催日 令和元年5月～7月 参加者実人員 18人</p> <p>○ 介護予防サポーター登録者 16人 累計80人</p>	○	<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・講習受講のみ希望者と介護予防サポーター希望者が混在し、地区活動に対する意識や意欲に差が生じる傾向。</li> <li>・教室修了者と地区活動が結びつかない。</li> </ul> <p>【対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・講習会とスキルアップセミナーの内容の見直しと充実。</li> <li>・フレイルチェック等役割を持つという活躍の場</li> </ul>
①	<p>○ 地域包括ケアシステムを実現するための手段として地域ケア会議を活用する。</p> <p>○ 多職種からの専門的助言を受け、高齢者の自立支援と介護予防の視点を踏まえたケアマネジメントの質の向上を図る。</p> <p>○ 自立支援に資するケアマネジメントを基本に、地域ケア会議を通して地域課題を共有し、資源開発や政策形成につなげていくことが求められている。</p>	<p>○ 自立支援型の地域ケア会議個別会議の開催</p> <p>○ ケアマネアンケート調査を実施し、介護支援専門員の意識を確認</p>	<p>○ 地域ケア会議個別会議の開催</p> <p>毎年度 6回開催 参加延人数140人</p> <p>○ ケアマネアンケート調査の実施</p> <p>介護支援専門員の意識を確認するため、アンケート調査を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自立支援に向けたケアマネジメントを意識している 100%</li> </ul>	<p>○ 地域ケア会議個別会議</p> <p>開催回数 6回 参加者数 136人</p> <p>・ 県事業である自立支援型地域ケア会議支援事業を受けた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・関係者別の研修会に参加し各専門職としての役割を確認した。</li> <li>・アドバイザーの派遣等を受けて、会議の進行方法や専門職としての助言方法等の助言を受けた。</li> </ul> <p>○ ケアマネアンケート調査</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月開催している町内ケアマネ連絡会に自立支援に向けたケアマネジメントの内容を取り入れ開催した。連絡会の内容について、随時アンケートを行いケアマネの意識を確認した。</li> </ul>	○	<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自立支援型地域ケア会議を実践したが、介護サービス事業所の参加が少ない。</li> <li>・地域ケア会議で検討後の変化等についてモニタリングが不十分である。</li> <li>・介護支援専門員の自立支援に対する意識の変化を確認する。</li> </ul> <p>【対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自立支援型地域ケア会議を継続し、今後も介護サービス事業所の参加を働きかける。</li> <li>・検討後の経過報告をする時間を設けてモニタリングをする。</li> <li>・R2年度中に評価基準のケアマネアンケート調査を行い、自立支援に向けたケアマネジメントへの意識の変化について評価する。</li> </ul>
②	<p>○ 利用者に適切な介護サービスを提供することにより介護給付の適正化を図り、介護保険制度の信頼感を高める。</p> <p>○ 介護給付費や介護保険料の増大を抑制し、持続可能な制度の運営を実現することが求められている。</p>	<p>○ 介護認定調査員研修の実施</p> <p>○ 事前に調査票の書面上の点検を実施</p> <p>○ 委託で実施している更新認定調査の一部を町職員が実施</p> <p>○ ケアプランの点検を実施</p>	<p>○ 要介護認定の適正化</p> <p>調査員研修 2回、3会場 調査票の点検 全件 町職員による認定調査 在宅6件、施設12件 ○ケアプランの点検 34件</p>	<p>○ 要介護認定の適正化</p> <p>調査員研修 2回、3会場 調査票の点検 全件 町職員による認定調査 在宅6件、施設12件 ○ケアプランの点検 16件</p>	○	<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今まで委託していた更新認定調査を町職員が実施することで調査の平準化が図られているが、前回内容との比較確認までは至っていない。</li> <li>・業務上必要なケアプランのみの点検となっている。</li> </ul> <p>【対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町職員による認定調査の選定基準を設ける。</li> <li>・ケアプランの点検を実施し結果を返す。</li> </ul>